

第 1004 回教育委員会 会議録

平成 26 年 12 月 25 日

14:00～14:45

①開 会

<長南委員長> それでは、ただいまから、第 1004 回教育委員会を開会いたします。

②会議録署名委員 の氏名

<長南委員長> 会議録署名委員に、小嶋委員と武田委員を指名いたします。

③会期の決定

<長南委員長> 会期は、本日一日としていかがですか。

<各 委 員> 異議なし

<長南委員長> 御異議なしと認め、会期は本日一日に決定いたします。

④報 告

<長南委員長> 議事に先立ち、報告があります。
(1)「平成27年度県立米沢工業高等学校専攻科入学者選抜第2次募集
について」、高校教育課長より報告願います。

<高校教育課長> ≪ 報 告 ≫

<長南委員長> 御質問等ございますか。

<長南委員長> なければ、(2)「平成27年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況
(11月末現在)」について、高校教育課長より報告願います。

<高校教育課長> ≪ 報 告 ≫

<長南委員長> 御質問等ございますか。

<菅野教育長> 10月までは県内、県外ともに昨年を上回る数字でしたが、ここにきて
県外が昨年を下回っているということをごどのように見えていますか。

<高校教育課長> 全体的に県内志望が高まっているなかで、県外志望者の数が若干少な

くなっているのかなと思います。未内定者の数は一定数いるととらえていますので、その関係から、希望者の減少により内定率、内定者数が下がったととらえています。

<菅間教育次長> 県外は当初良くて、県外に対するパワーがこれまで通りあれば、昨年を上回ることができたと思うのですが、それが鈍ったということで、県外志望の子が、県外志望のまま県内と両てんびんにかけている状況があるのかもしれませんが。

<菅野教育長> どのような子が残っているのですか。

<高校教育課長> ここからの勝負は、これまで一度か二度落ちた子たちですので、やはり何らかの課題があったり、就職に対する意識の高まりがそれほどないような生徒が増えてきています。

<飛塚教育次長> 県内志望者については、面接会などの指導など、学校からのフォローができますが、県外志望者に対しては、学校側のフォローが届きにくい状況にあります。

<菅野教育長> ぜひとも、県外志望の子を県内に引き留めるような指導をお願いします。もう少し丁寧な分析をお願いしたいと思います。

<長南委員長> ほかになければ、(3)「平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」について、スポーツ保健課長より報告願います。

<スポーツ保健課長> << 報 告 >>

<長南委員長> 御質問等ございますか。

<武田委員> 全国的な、都市部や地方など地域的な傾向はあるのでしょうか。

<スポーツ保健課長> 地域別の傾向を詳しくは分析していませんが、昔は地方では野山を駆け回り、学校にも当然歩いていくなどの状況がありましたが、今は、車社会になり、小学校では統廃合によりスクールバスを活用するということで、むしろ今は都市部の方が歩いている状況にあります。

<長南委員長> ほかになければ、これより議事に入ります。

⑤議 事

<長南委員長> 議第1号は人事に関する案件となりますので、これより秘密会としていかがですか。

<各 委 員>

異議なし。

<長南委員長>

御異議なしと認め、これより秘密会といたします。

《 関係者以外退出 議第1号は秘密会にて審議 》

⑥閉 会

<長南委員長>

これで、第1004回教育委員会を閉会いたします。